

# 水路に橋を架け 地域や小学校と交流深める 高志保育園を見学

はしづめ議員団長と平良木議員は、このほど春日区にある私立高志保育園を訪れ、昨年春に完成した新しい園舎と園庭などを見学しました。

この保育園は、長い間地域に支えられて子どもたちとともに歩んできた保育園です。昨年春の増改築にあたっては、新築部分に県内産木材をたっぷり使ったほか、旧



園舎もコンクリート床にクッション材を敷きつめ、子どもたちが転んでもけがをしないように安全性に配慮した改善を行いました。

また、隣接する高志小学校や、近隣の地域のみなさんとの交流を深めるため、境界にある用水に橋を架け、互いに行き来できるようにして連携を深めています。「こうりゅうのかけはし」と名付けられた橋を渡ると、そこには小学校の校庭林があり、さらに遊具がいっぱいの地域の公園が連なっています。子どもたちにとってまさに遊びの天国です。

坪井園長さんは、「子どもはたっぷり遊んで育ちます」と、にこやかに語っていました。

## 一般質問は16か17日

日本共産党の各議員の一般質問は、16日か17日になる予定です。

10番目 平良木哲也議員

医療・福祉総合法案、原子力発電問題、入札制度

11番目 上野公悦議員

消費税増税問題、生活保護に関する諸問題

12番目 はしづめ法一議員

人事政策、並行在来線対策、農業委員会制度の見直し

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.414 2014年6月15日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 安易な使い回しはいかなるものか

## (仮称)厚生産業会館基本設計市民フォーラム

8日、(仮称)厚生産業会館基本設計「市民フォーラム」が開かれました。昨年暮れから行われてきた市民ワークショップの議論の概要を広く市民に報告するためのものです。

この施設の構想には、介護保険料の高騰など市民負担が増す中で、今この時期に大きな資金を導入しての建設がふさわしいのかという多くの市民からの疑問の声が出されています。私たちは、「建設ありき」ではなく、白紙の状態から市民に問いかけ、建設の可否を含めて市民の声を聞いてから決めるべきと主張してきました。

市民の意見を十分に聞かずに進めるやり方は許せるものではないかもしれませんが、どうしても造るといふのならば、実際に使う市民の意見や思いが十分に活かされる設計にすべきですので、今回のようなワークショップを積み重ねるやり方は、それ自体で見ると大きな前進であるといえます。

市民フォーラムでは、各部会での議論の様子や、どのような思いでワークショップに臨んだかといった感想が報告されました。

報告の中では、子ども部会から報告に立った保育園の園長さんの指摘が印象に残りました。彼の指摘は、「3つの違った要素が統合されているので、世代間の交流が図られることから、『重ね使い』は重要であると思うが、子どもの使うスペースは、感染症予防などのためにかなり厳重な消毒作業をその都度行っていることから、子どもスペースを他の目的で使用する際には、使用後にしっかり消毒作業をしていただきたい」というものでした。子ども

使っていない時には他の目的で使うのではないかと、単純に考えがちですが、やはり子どものためのスペースはあくまでも子どものためのものであり、安易に「使い回し」をしようという考えは、いかなるものか。

フォーラムの最後のフロアからの発言でも、鋭い意見が出されました。一つは「使い勝手の件です。『今の公民館は市民に広く開放されてほしい』という思いが強いが、新しい施設でも門戸が狭くならないようにすべきだ」という指摘で

す。施設が新しくなったからといって、使い勝手が悪くなつてはなりません。市民への開放の度合いをより大きくし、気軽に使える施設にすることが求められています。

二つ目は、観桜会の際の使用の懸念です。観桜会の際は、高田図書館(駐車場)への出入りすら制限されていますので、実質的にはこの施設も使えない、あるいはイベントが企画できないというおそれがあります。

同席した宮崎都市整備課長は、「使用の調整はまだしていないので、今は答えられない。これから知恵を絞りたい」とのこと。果たして解決がつかうのでしょうか。

そして、三つ目は、日常の駐車場の件です。施設の近傍には150台分の駐車場を用意する考えのようですが、ホールの客席数が600以上であることから、全く足りません。高田公園全体では500台分を確保できると思いますが、これでも心配な上に、場所によつてはかなり遠くなりま

す。特に小さい子どもを連れて駐車場から数百メートルも歩くとなると、たいへんです。



ワークショップ参加者によるパネルディスカッション

この点では、司会者が、「駐車場の問題ではいろいろな議論があった。一方で、車のない人を排除しないように、車以外のアクセス方法も考えるべきではないか」と指摘しました。まさにその通りで、どんな人でも行きやすい施設にすることも大事なことです。しかし、その前に、駅から遠いなど不便な点もあることから、十分な駐車場の確保も前提条件の一つです。重要な問題として、考えていく必要があります。